

令和5年度 釜石水産・海洋研究フォーラム 開催要綱

1 目的

近年の気候や海洋環境の変化等により、秋サケやサンマをはじめとする水産資源の減少や磯焼けによる磯根資源の減少、高齢化等を原因とした漁業就業者の減少及び原材料費の高騰など水産業を取り巻く環境は年々厳しさを増している。

このような環境の中、持続可能な産業として水産業の産業構造の維持・発展を図るため、さかなのまち釜石復活に向けた新たな取組の可能性を考えることを目的に開催するもの。

2 開催日時・場所

令和6年2月29日（木） 13：30～16：25

釜石情報交流センター 釜石 PIT(多目的集会室)及びオンラインのハイブリッド開催

3 共催・後援

(1)共催	釜石市、岩手大学三陸水産研究センター、いわて海洋研究コンソーシアム
(2)後援	岩手大学研究支援・産学連携センター、さんりく養殖産業化プラットフォーム、釜石流通団地水産加工業協同組合、(公財)釜石・大槌地域産業育成センター、釜石市漁業協同組合連合会、釜石東部漁業協同組合、釜石湾漁業協同組合、唐丹町漁業協同組合

4 対象者

市民、漁業者関係者、水産加工関係者、自治体職員、研究者等

5 講演内容

時間（計175分）		内容
13：30～ 13：40	10分	開会・主催者あいさつ
13：40～ 14：20	40分	① 近年の海洋環境やサンマ、イカ、サバなどの回遊魚の資源動向について (国立研究開発法人水産研究・教育機構 木所英昭 氏) 近年の海洋環境等の影響により不漁が続くサンマ、スルメイカの資源動向のほか、水温上昇に伴い増加する魚種など、現在、三陸の海に起きている変化に関する内容をご講演いただく。
14：20～ 15：00	40分	② 新陳代謝の時期を迎えた水産基地の課題 (北海学園大学 経済学部 教授 濱田武士 氏) 今後、高齢化等による担い手の減少で地域水産業の生産力低下が懸念される中で釜石の水産業の維持・発展のため、目指していきべき生産体制等を他地域の事例を交えながらご講演いただく。
15：00～ 15：10	10分	休憩（ブルーカーボンの取組紹介）
15：10～ 15：50	40分	③ 釜石地域におけるサクラマス養殖発展に向けた種苗開発 (岩手大学三陸水産研究センター センター長 平井俊朗 氏) 2020年から試験養殖が開始され、現在は事業化による生産活動が展開されている釜石はまゆりサクラマスの養殖発展に向けた海面養殖用サクラマス種苗の育種開発研究結果に関する内容をご講演いただく。

15:50~ 16:20	30分	④ 三陸をあるべき姿に (有限会社ヤマキイチ商店 専務取締役 君ヶ洞剛一 氏) 泳ぐホタテのファン獲得に隠された販売戦略や商品の質の維持に係る取り組みのほか、飲食業に参画するなど複合経営に至った経緯をご講演いただく。
16:20~ 16:25	5分	閉会

6 問い合わせ

岩手県釜石市産業振興部水産農林課水産振興係

TEL: 0193-27-8427 FAX: 0193-22-1255

MAIL: suisan@city.kamaishi.iwate.jp

7 参加申込み

FAX 若しくはメールにて申込み